

バリアフリー化のさらなる推進

建 築物のバリアフリー

誰もが利用しやすい建築物をめざすユニバーサルデザインの考え方により、高齢者、障がい者等の目線に立ったバリアフリー化を推進します。



交 通のバリアフリー

市内の主要幹線道路及び歩行者が多い道路等については、安全で快適に利用できる交通環境づくりを推進します。



情 報のバリアフリー

障がいの有無に関わらず誰もが必要な情報を得ることができるような支援の充実や、情報手段に配慮した取組みを進めます。



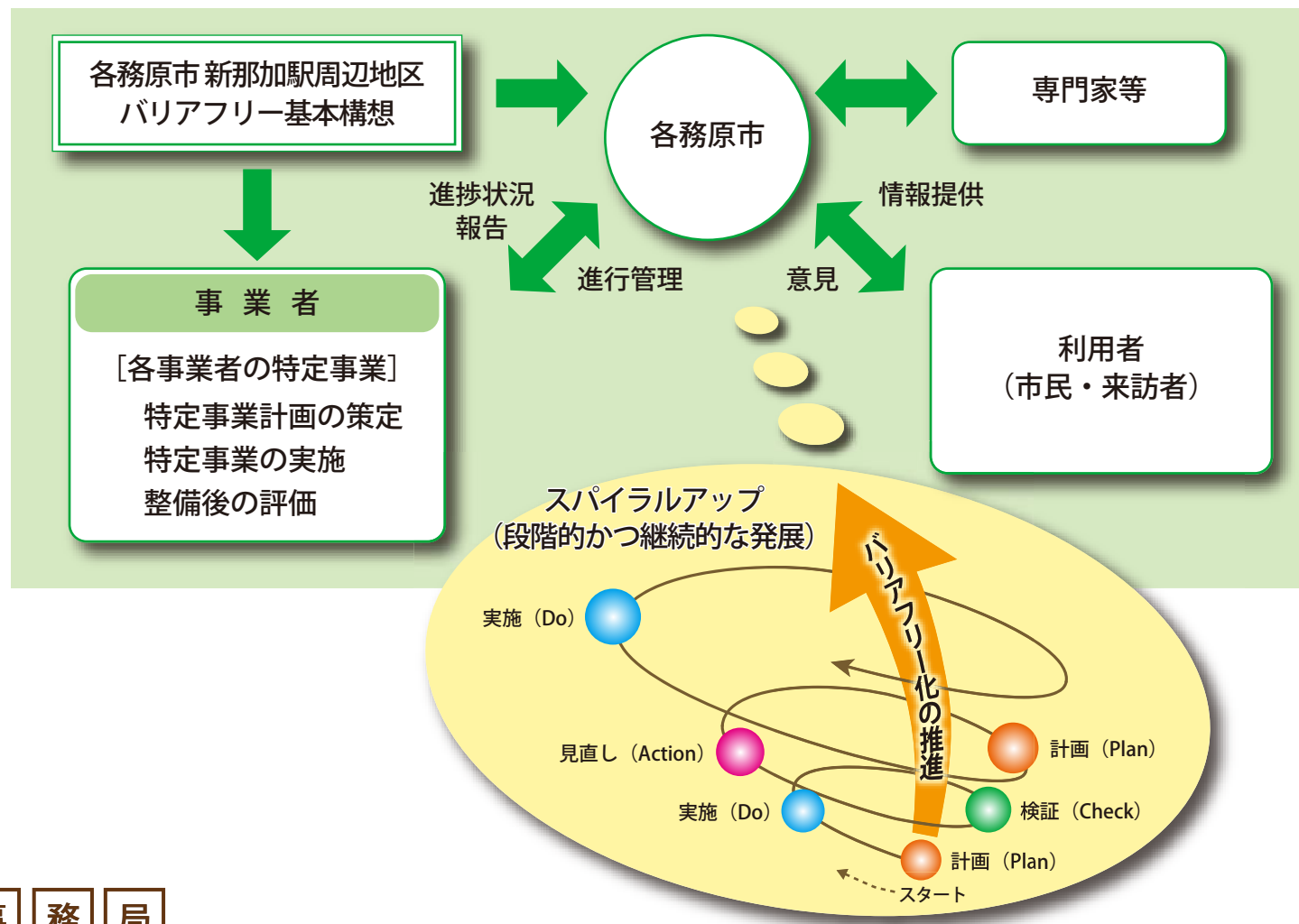
心 のバリアフリー

高齢者、障がい者等について正しく理解し、対等な立場となつて、お互いに助け合うといった「心のバリアフリー」の推進に取り組んでいきます。



今後と取り組み

本基本構想および特定事業計画が効果的に、着実に実施されるよう、PDCAサイクルによるスパイラルアップ（段階的かつ継続的な発展）に取り組む、定期的な見直し及び評価を随時実施していきます。

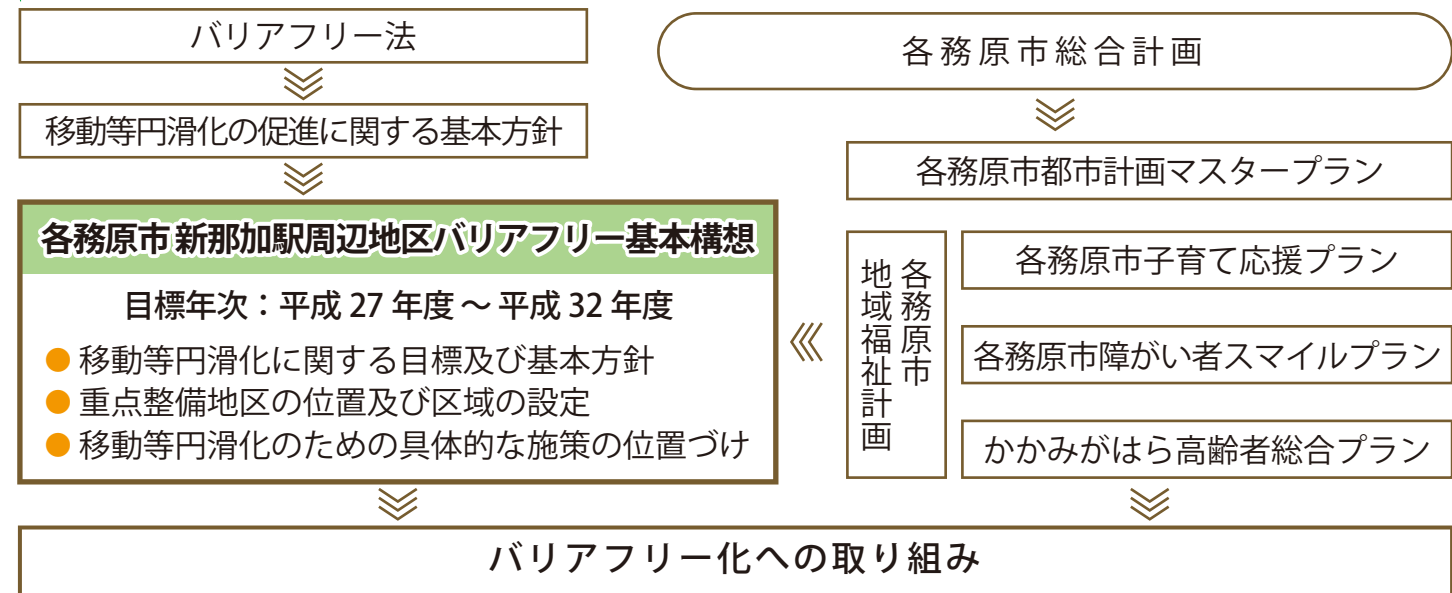


背景と目的

各務原市では、平成 14 年に交通バリアフリー法に基づく「新那加駅周辺地区交通バリアフリー基本構想」を策定し、新那加駅周辺のバリアフリー化整備を進めてきました。

今後、新那加駅についても、各務原市の西の拠点として駅や連絡通路のバリアフリー化とともに、交通結節点機能の向上や歩行者ネットワークの形成を図るため、平成 32 年度を目標として、新那加駅周辺地区で、あらゆる人が安心・安全、そして快適に移動などができる環境づくりを目指して、バリアフリー基本構想を策定しました。

本基本構想の位置付け



バリアフリー化の基本目標と基本方針

基本目標 便利で快適に暮らせるユニバーサルデザインのまちづくり

- 基本方針**
1. 拠点施設の重点的・一体的なバリアフリー化を進めます
 2. あらゆる人が集まりやすく、歩いて移動しやすいまちにします
 3. 心のバリアフリーを促進します

基本構想の策定体制

学識経験者、高齢者、障がい者等の各種団体、地元住民、関係機関の代表者等で構成する「新那加駅周辺地区バリアフリー基本構想策定協議会」を設置し、基本構想の内容検討及び意見調整を行いました。

また、高齢者、障がい者等を対象としたアンケート調査及びタウンウォッチング（まち歩き）、関係機関との協議等を行いました。



策定協議会



タウンウォッチング



